

区民意向把握 概要版

1 区民アンケート調査結果(概要版)

1 調査の目的

まちづくりマスタープラン改定にあたり、現行計画に基づく施策や、区内のまちづくりの現状についての意向及び満足度を把握することで、マスタープラン改定に向けた基礎資料とすることを目的として調査を実施した。

2 実施概要

	詳細
調査の対象	基本台帳からの無作為抽出による 18 歳以上の区民 3,600 人(外国人を含む) ※性別、年代、日本人／外国人の割合、地区ごとの人数等は、人口比率に従って抽出する
調査方法	郵送配布、郵送回答、インターネット回答 日本語・英語・ハングル語・中国語の4か国語対応 Uni-Voice 対応
調査実施期間	令和7年7月8日(火)～令和7年7月 31 日(木)
回収数	送付数:3600 通(うち 60 通、宛所なし等で未達) 回収数:843 通(うちインターネット回答 460 通)／3540 通 内訳 日本語:820 通(うちインターネット回答 448 通) 英語:16 通(うちインターネット回答 11 通) 中国語:4 通(インターネット回答なし) 韓国語:3 通(うちインターネット回答 1 通) 回収率:23.8%

3 調査の内容

次の設問について調査した。

なお、本概要資料では、下記、問9・問 14 について調査・分析結果を掲載した。

設問	詳細
○回答者の属性	問 1 性別
	問 2 年齢
	問 3 職業
	問 4 世帯構成
	問 5 世帯内の高齢者等の有無
	問 6 港区内の居住年数
	問 7 居住地選択理由
	問 8 居住地域の町名
	問 9 居住地域の魅力
	問 10 日常で感じるまちの課題
○地域活動の参加状況	問 11 町会・自治会への加入の有無と、地域活動の参加状況
	問 12 地域活動に不参加の理由
○計画の認知度	問 13 まちづくりマスタープランの認知度
○現行計画の施策の評価	問 14 現行施策の満足度と重要度
○今後のまちづくりについて	問 15 自由意見

4 主な調査結果

(1) 居住地域の魅力について

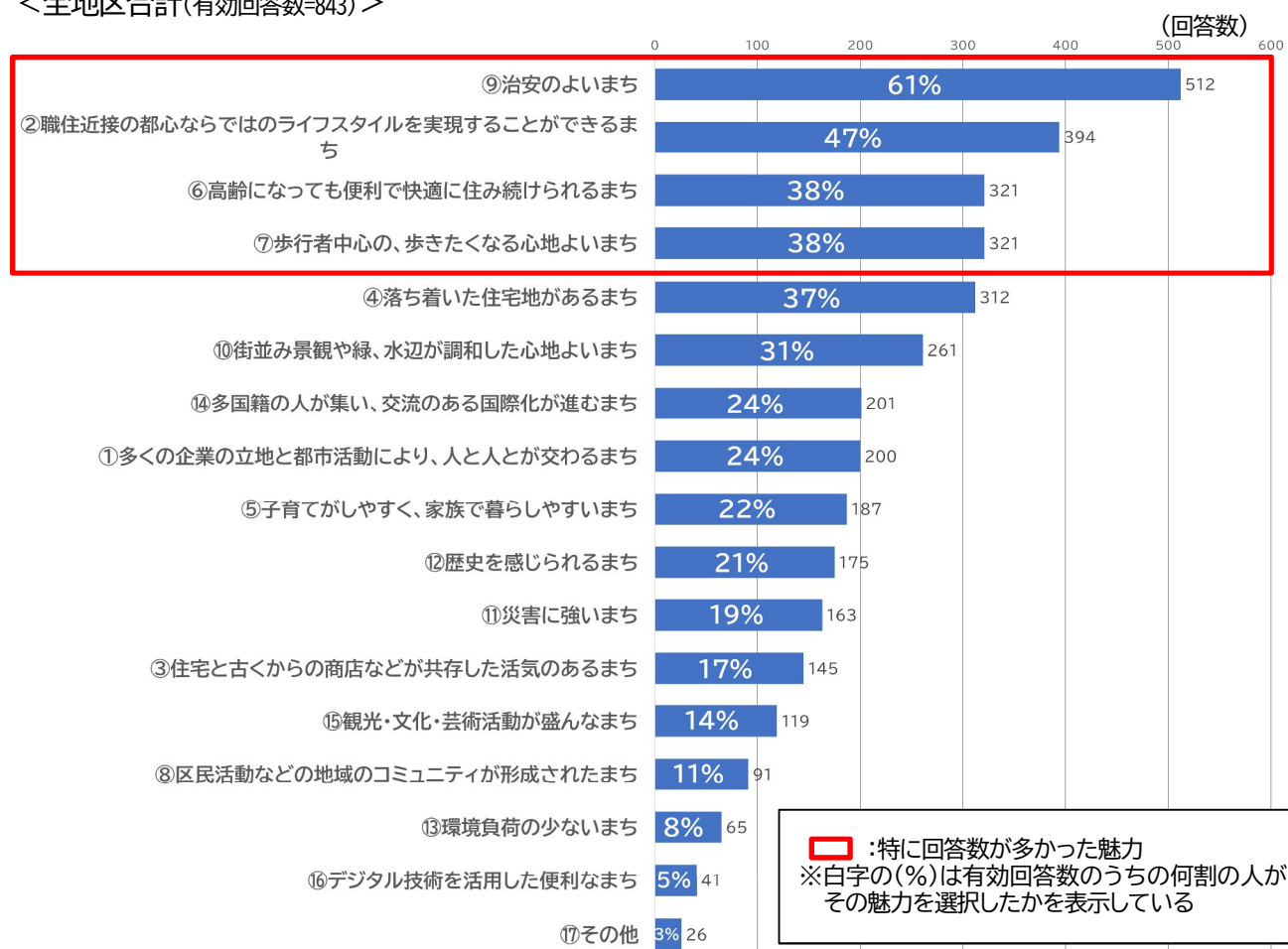
設 問

問 9 前の質問で選択したお住まいの地域(区全体ではない)の魅力について、イメージに当てはまる項目を選んでください。【チェック(✓)はいくつでも】

集計・分析結果

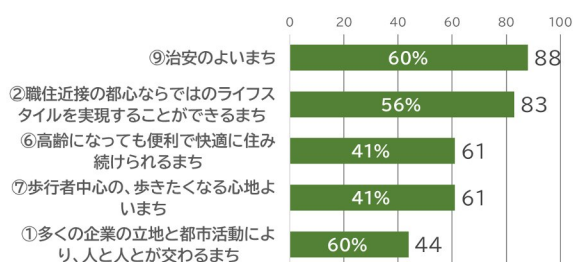
- ・ 区民が特に居住地域の魅力として感じている点については、「治安のよいまち」、「職住近接の都心ならではのライフスタイルを実現することができるまち」、「高齢になっても便利で快適に住み続けられるまち」、「歩行者中心の、歩きたくなる心地よいまち」が特に高い回答数を得ていた。
- ・ 地域ごとに特徴のあった魅力としては、芝浦港南地区の「街並み景観や緑、水辺が調和した心地よいまち」、麻布地区の「多国籍の人が集い、交流のある国際化が進むまち」が挙げられる。

<全地区合計(有効回答数=843)>

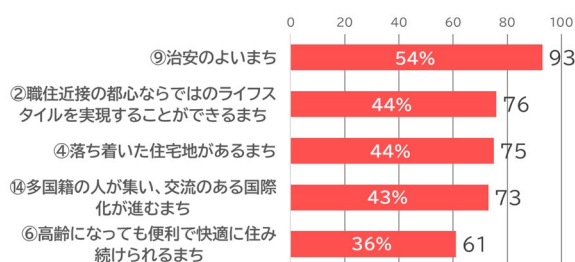


<地区別集計>

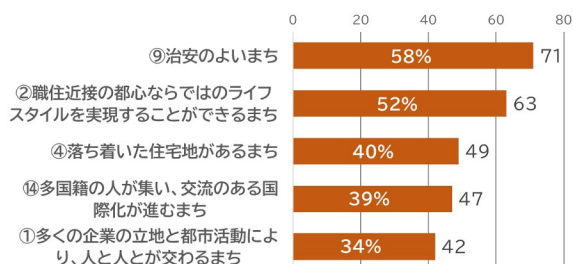
○芝地区(有効回答数=147)



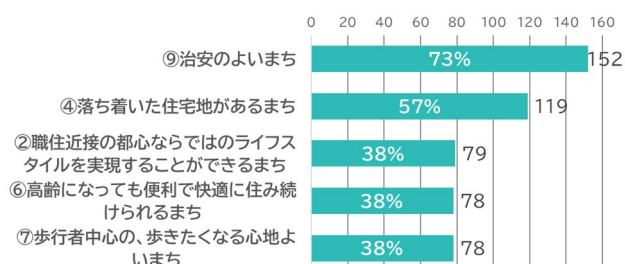
○麻布地区(有効回答数=171)



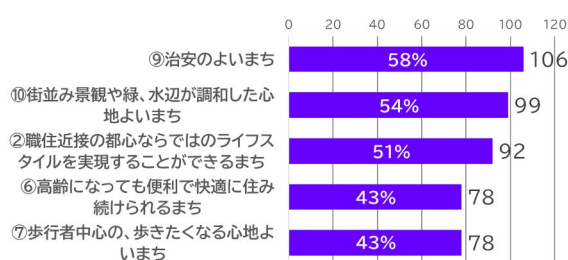
○赤坂地区(有効回答数=122)



○高輪地区(有効回答数=207)



○芝浦港南地区(有効回答数=182)



考 察

- ◆それぞれがお住まいの地域の魅力を聞いているなかで、全地区で「⑨治安の良さ」が第一位となっており、区のハードソフト両面でのまちづくりの取組が安全・安心に繋がっている。
- ◆「②職住近接」「⑥高齢になっても快適に住み続けられるまち」「⑦歩行者中心の、歩きたくなる心地よいまち」が各地区で上位を占めており、公共交通や徒歩で快適に生活できる都市環境が区民に一定の評価を得ていると考えられる。
- ◆芝浦港南地区での「⑩水辺が調和したまち」や、麻布地区の「⑭国際化が進むまち」などが地域住民から魅力として捉えられていることから、地区の魅力を向上するまちづくりが区民に対して一定の成果を得ていると考えられる。

(2) 現行計画の施策の評価について

設 問

問 14 区は、まちづくりマスタープランに基づき、様々なまちづくりの取組を進めています。その中で代表的な取組の成果への満足度と重要度について、あなたの考えに当てはまる項目を選んでください。【各取組、満足度・重要度を1つずつチェック】

満足度					重要度			
	満足	やや満足	やや不満	不満	重要	やや重要	やや重要でない	重要でない
①	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

回答ボックスイメージ

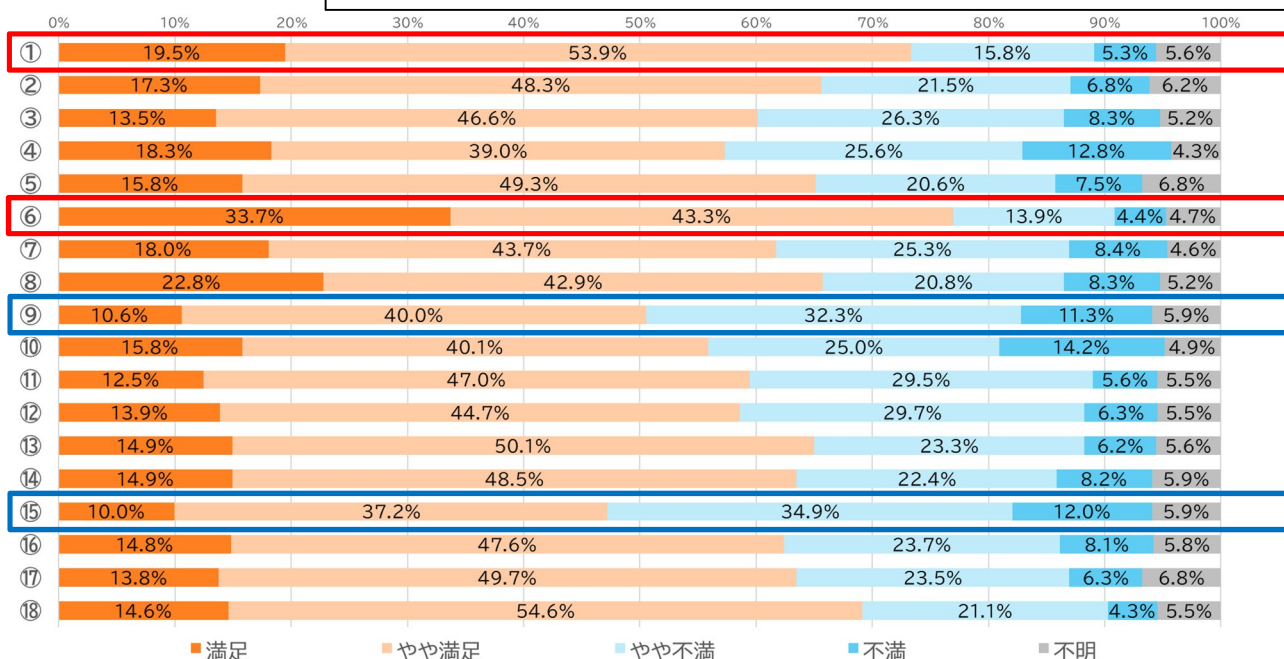
No.	設問
①	住宅地での落ち着いた居住環境の保全や、商業地での国際ビジネス拠点の形成など、地域特性に応じたまちづくりを進める取組
②	開発でできたビルの広場などでの、にぎわいや地域コミュニティ活性化のための取組
③	高齢者世帯、子育て世帯や外国籍の方など、多様な世帯が住み続けられる居住環境の整備や居住支援の取組
④	スーパーマーケット、医療施設や子育て支援施設など、生活するために便利な施設の整備を誘導する取組
⑤	子育て世帯や子どもたちが安心して遊ぶことができる環境を整える取組
⑥	公共交通(鉄道、地下鉄、バス、舟運、自転車シェアリング)の利便性を高める取組
⑦	道路、駅や民有地(私有地)の歩行空間などの、バリアフリー化を進める取組
⑧	公園、道路やオープンスペースなどに、十分な量の緑を確保する取組
⑨	古川や運河などに、水と触れ合えるにぎわい空間を充実させる取組
⑩	無電柱化、古い建物の耐震化や建替えなど、災害に強いまちづくりを進める取組
⑪	地域が主体となった、防災訓練の実施や連携体制の構築など、地域の防災力を向上させる取組
⑫	ゲリラ豪雨、台風による浸水などの、都市型水害に強いまちづくりを進める取組
⑬	開発や建築の際に、寺社などの歴史資源や坂道・斜面緑地などの地域資源を生かした景観づくりを進める取組
⑭	商業地や落ち着いた住宅地など、地域ごとの街並みに調和した景観を誘導する取組
⑮	ヒートアイランド現象の緩和策として、建物の壁面緑化や緑豊かなオープンスペースを誘導する取組
⑯	自転車シェアリングやクリーンエネルギーを導入したバスなど、環境にやさしい交通手段を普及させる取組
⑰	国際都市として、国内外からの来訪者が快適に過ごせる環境を整える取組
⑱	歴史・文化、豊かな地形など、地域の観光資源を活用した、まちの魅力の向上を進める取組

集計結果

<満足度 集計>

- 満足、やや満足の合計割合が特に高い取組は「公共交通(鉄道、地下鉄、バス、舟運、自転車シェアリング)の利便性を高める取組」、「住宅地での落ち着いた居住環境の保全や、商業地での国際ビジネス拠点の形成など、地域特性に応じたまちづくりを進める取組」であった。
- 不満、やや不満の合計割合が特に高い取組は「古川や運河などに、水と触れ合えるにぎわい空間を充実させる取組」、「ヒートアイランド現象の緩和策として、建物の壁面緑化や緑豊かなオープンスペースを誘導する取組」であった。

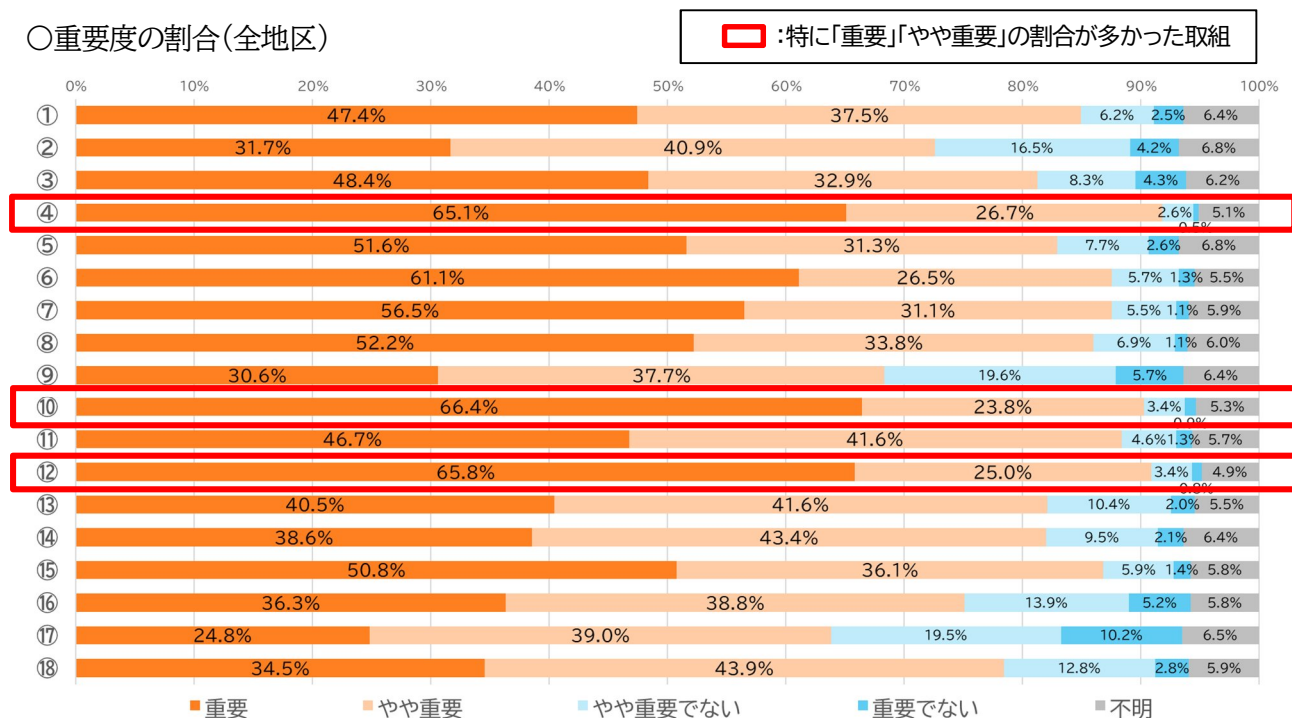
○満足度の割合(全地区) ■:特に「満足」「やや満足」の割合が多かった取組 ■:特に「不満」「やや不満」の割合が多かった取組



<重要度 集計>

- 18 の取組のうち、15 の取組では重要、やや重要な合計割合が75%を超えていたが、「スーパーマーケット、医療施設や子育て支援施設など、生活するために便利な施設の整備を誘導する取組」、「ゲリラ豪雨、台風による浸水などの、都市型水害に強いまちづくりを進める取組」、「無電柱化、古い建物の耐震化や建替えなど、災害に強いまちづくりを進める取組」における重要、やや重要な合計割合が特に高かった。

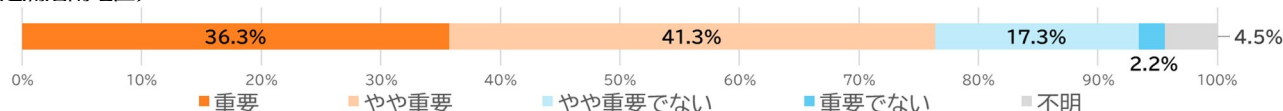
○重要度の割合(全地区)



※参考:他の設問とのクロス集計例

- 水辺空間の多い芝浦港南地区に限定して、「⑨水辺空間を充実させる取組」について重要度を確認するため、「問8:お住まいの町名を教えてください」において芝浦港南地区内の町名を選択した回答者」とクロス集計を行った。全世帯との回答と比較して、「重要」「やや重要」の割合が高くなっている。

⑨(芝浦港南地区)



考 察

<満足度について>

「⑥公共交通の利便性を高める取組」の満足度が高く、これは「問9:お住まいの地域の魅力のアンケート」で考察した内容と似た結果である。魅力と感じられることに関連する区のまちづくりの取組は満足度が高いといえる。

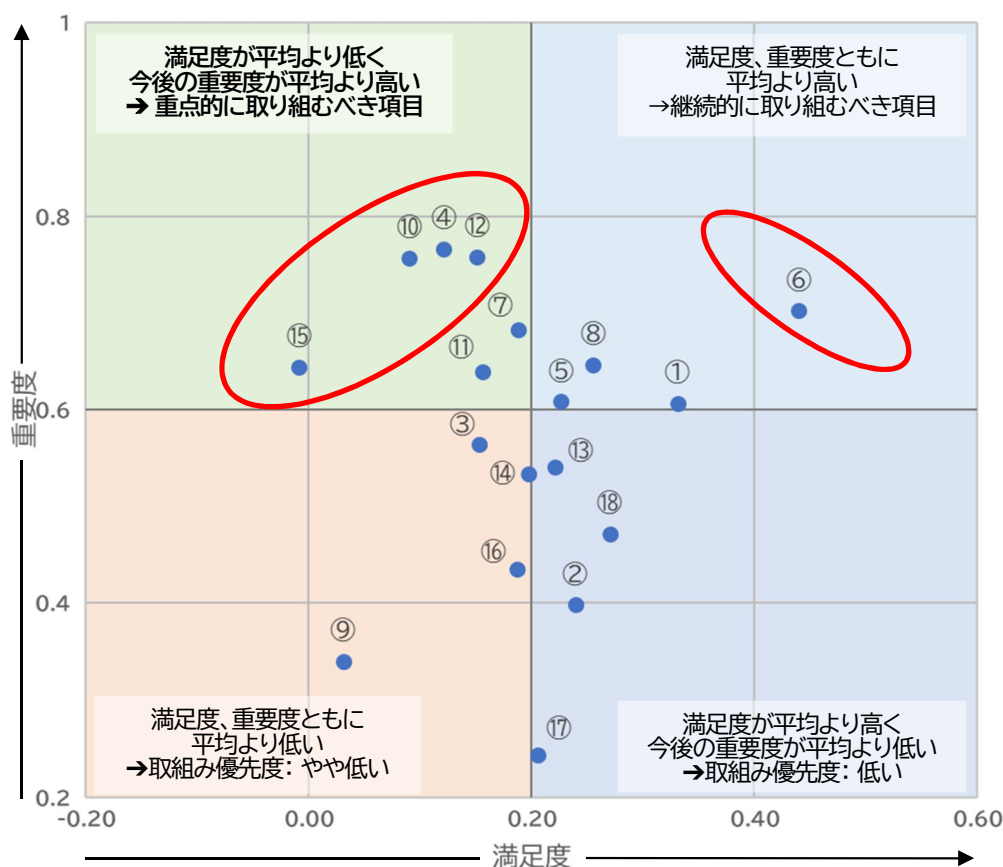
<重要度について>

いずれの取組の重要性も高く評価されている。他の取組と比較して相対的に重要度が低くなった取組として、「⑨水辺空間を充実させる取組」、「⑰国際都市として来街者が快適に過ごせる取組」が挙げられる。しかし、住民アンケートという特性上、区民全員が自身の生活に関わる取組がより重要性が高く出ること考えられる。そこで、例えば⑨の取組を、水辺が多い「芝浦港南地区」の住民のみでクロス集計したところ、重要とやや重要な合計が77.6%となり、全世帯の68.3%を大きく上回った。そのため、芝浦港南地区の住民では⑨の取組は重要な取組と認識されていると考えられる。

<満足度×重要度のクロスマッピング>

- ・「スーパーマーケット、医療施設や子育て支援施設など、生活するために便利な施設の整備を誘導する取組」、「無電柱化、古い建物の耐震化や建替えなど、災害に強いまちづくりを進める取組」、「ゲリラ豪雨、台風による浸水などの、都市型水害に強いまちづくりを進める取組」、「ヒートアイランド現象の緩和策として、建物の壁面緑化や緑豊かなオープンスペースを誘導する取組」は、満足度が平均より低く、今後の重要度が平均より高いため、今後特に重点的に取り組むべき項目である。
- ・「公共交通の利便性を高める取組」は、満足度が平均より高く、今後の重要度も平均より高いため、継続的に取り組むべき項目である。

■クロスマッピング図



※本グラフは、各取組項目について、

- ・「満足」「重要」… 1点、
- ・「やや満足」「やや重要」… 0.5点、
- ・「やや不満」「やや重要でない」… -0.5点、
- ・「不満」「重要でない」… -1点

として、区民の回答を集計し、横軸に満足度、縦軸に重要度の平均値を座標軸上に各項目をプロットすることで、今後取り組むべき項目の優先度を視覚的に明らかにしたものである。

※グラフの原点は全ての取組項目の満足度、重要度の平均値である。

考 察

<満足度×重要度について>

満足度が低く、重要度が高かった「特に重点的に取り組むべき項目」として、④の施設整備の取組、⑩や⑫の防災のハード整備の取組が挙げられる。生命や日々の生活に関わるハード整備の内容は、特に区民のニーズが高い取組と考えられる。

2 中学生アンケート調査結果(概要版)

1 調査の目的

まちづくりマスタープラン改定にあたり、子どもの意見を把握し、まちづくりマスタープランの改定に反映させるため、中学生を対象として調査を実施した。

2 実施概要

	詳細
調査の対象	港区内の中学校の生徒 744 名
調査方法	インターネット回答
調査実施期間	令和7年9月 19 日(金)～令和7年10月 14 日(火)
回収数	回収数:476 通/送付数:744 通/回収率:64.0%

3 調査の内容

次の設問について調査した。なお、本概要資料では、下記、Q3～Q5 について調査・分析結果を掲載した。

設問	詳細
○回答者の属性	Q1-(1) 性別
	Q1-(2) 学校名
	Q1-(3)(4) 居住地・居住歴
○港区への愛着	Q2 港区が好きか
○現行計画の施策の評価	Q3 いまの港区の満足度について
○将来の居住	Q4 港区への将来の居住意向
○まちの将来像	Q5 港区に求める将来像

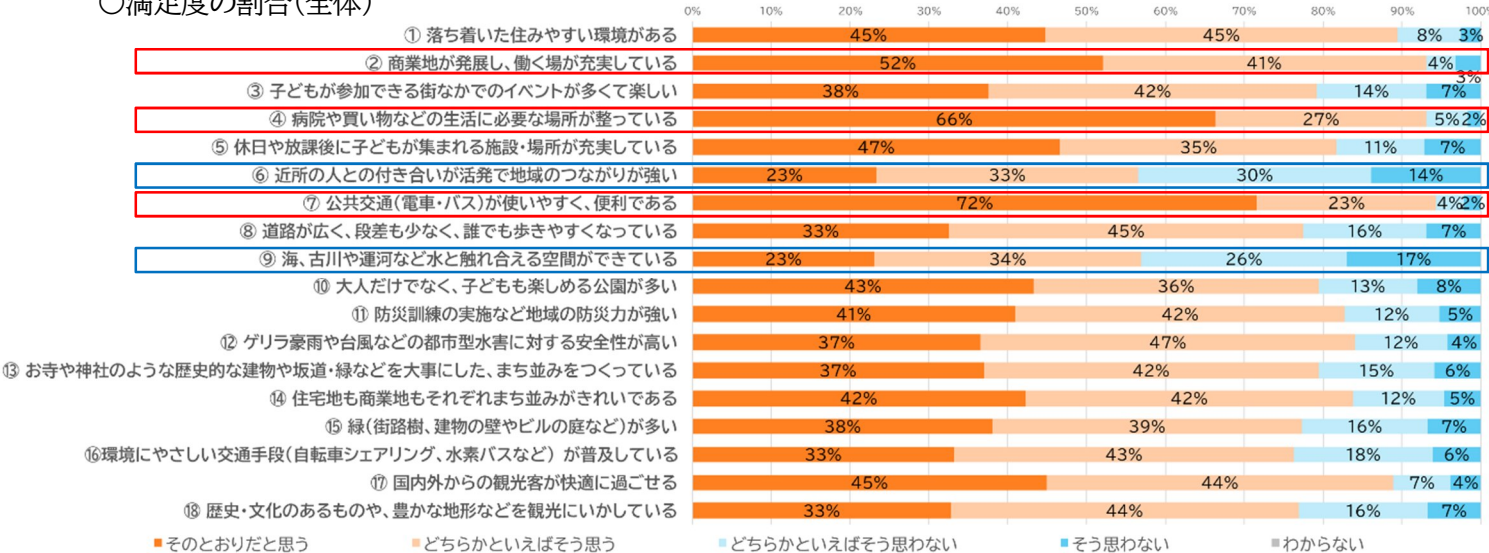
4 主な調査結果

1) いまの港区の満足度について

設 問 Q3 下記に記した18個の項目について、いまの港区の「まち」がそうになっていると思うか、思わないかを教えてください。(各項目について、1つずつ選んでください。)

- ・ 18 の項目のうち、「⑦公共交通(電車・バス)が使いやすく、便利である」、「④病院や買い物などの生活に必要な施設が揃っている」、「②商業地が発展し、働く場が充実している」の項目が特に高い。
- ・ 18 の項目のうち、「⑥近所の人との付き合いが活発で地域の繋がりが強い」、「⑨海、古川や運河など水と触れ合える空間ができている」は、他の取組と比べ、そう思わない傾向にある。

○満足度の割合(全体)



考 察

公共交通の利便性が高いまちとなっていることについては、大人のアンケート同様、満足度の割合が高い結果となっていることから、世代を問わず高い利便性が供給されていることが推察される。また、水と触れ合える空間ができていないことについては、大人のアンケート同様、満足度の割合が低い結果となっており、子どもが触れあえる親水空間も足りていないと推察される。

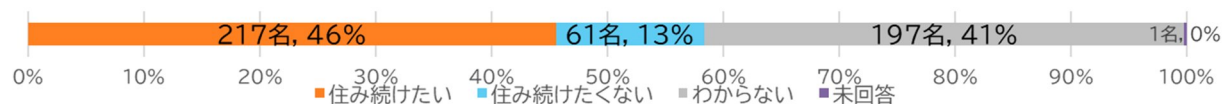
また、中学生は「病院や買い物などの生活に必要な場所が揃っている」と感じている割合が高い結果となったが、大人のアンケートでは「医療施設やスーパーなどの生活に便利な施設の整備を誘導する取組」は決して高い満足度ではなく、子どもが思うまちのイメージは良いものの、大人が求める現実的な満足度とは乖離があると考えられる。

2) 港区への将来居住意向について**設 問**

Q4-(1) 将来社会人になったとき、港区に住み続けたいと思いますか。

- ・ 約半数の回答者が「住み続けたい」と回答した

○居住意向ごとの人数・割合(全地区)



- ・ 住みたい理由で多い回答

[交通機関が便利、住み慣れている、綺麗で整っている、イベントごとが多い]

- ・ 住みたくない理由で多い回答

[人が多すぎる、緑豊かな自然を感じるところに住みたい、家賃/物価が高い]

3) 港区に求める将来像**設 問**

Q5 20年後の港区は、どんな「まち」になってほしいと思いますか。
(特に思うものを1つ以上選んでください。3つまで選ぶことができます。)

**考 察**

20年後のまちの将来像として「落ち着いた住宅地のあるまち」が一番多く選ばれ、「会社や商業施設が多くあり、活気あふれるまち」の2倍ほど選ばれた。一方で、Q3では、現状の港区のまちとして「商業地が発展し、働く場が充実している」が多く選ばれており、区内の中学生は港区の現状として商業・ビジネス環境が多くあることは把握しつつも、自分が住む住環境を守ってほしいという思いが感じられる。都心と住宅地を抱える港区ならではの回答であり、これまで港区が目指してきたメリハリのある土地利用の方針が実態として表れていると考えられる。

3 高校生アンケート調査結果(概要版)

1 調査の目的

まちづくりマスタープラン改定にあたり、子どもの意見を把握し、まちづくりマスタープランの改定に反映させるため、高校生を対象として調査を実施した。

2 実施概要

	詳細
調査の対象	都立芝商業高校の2年生の生徒168名 ※港区在住が8人しかおらず、港区での活動も少ないため参考とする
調査方法	インターネット回答
調査実施期間	令和7年9月19日(金)～令和7年10月8日(水)
回収数	回収数:145通/送付数:168通/回収率:86.3%

3 調査の内容

次の設問について調査した。なお、本概要資料では、下記、Q2～Q4について調査・分析結果を掲載した。

設問	詳細
○回答者の属性	Q1-(1) 性別 Q1-(2) 居住地
○余暇時間の港区とのかかわり方	Q1-(3) 余暇時間に港区で過ごす頻度・目的・魅力的な場所
○現行計画の施策の評価	Q2 いまの港区の満足度について
○将来の居住	Q3 港区への将来居住意向
○まちの将来像	Q4 港区に求める将来像

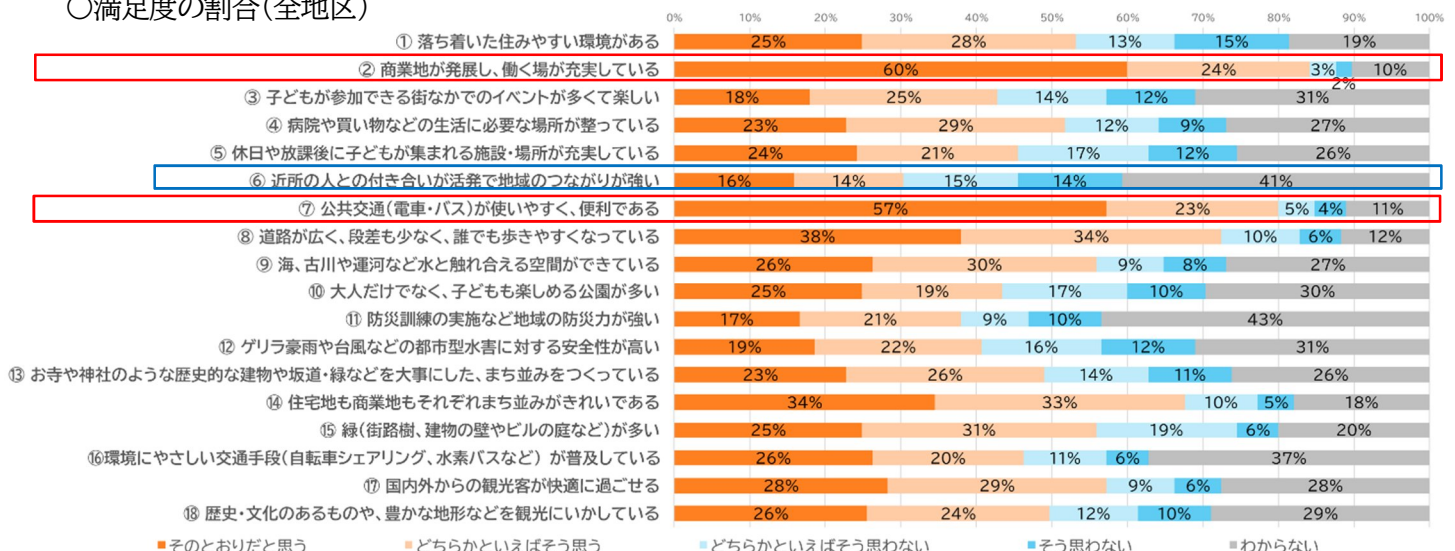
4 主な調査結果

1) いまの港区の満足度について

設 問 Q2 下記に記した18個の項目について、いまの港区の「まち」がそうなっていると思うか、思わないかを教えてください。(各項目について、1つずつ選んでください。)

- ・ 18の項目のうち、「②商業地が発展し、働く場が充実している」、「⑦公共交通(電車・バス)が使いやすく、便利である」の評価が特に高い。
- ・ 18の項目のうち、「⑥近所の人との付き合いが活発で地域のつながりが強い」の評価が特に低い。

○満足度の割合(全地区)



考 察

区立中学生アンケートと比較して、「落ち着いた住みやすい環境がある」と思う割合が低く、「商業地が発展し、働く場が充実している割合が高い」ことについては、高校生が港区在住の割合が極端に低いことから、港区に住んでいない人から見た港区のイメージとしても同じような結果となる可能性が高いと考えられる。

また、「近所付き合いの活発さ」については区立中学生アンケートと同様に低いことから、子ども全体としての意識として、コミュニティが希薄と捉えられていると推察される。

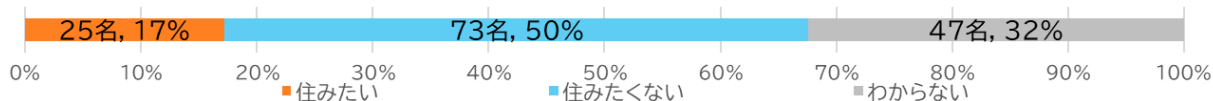
2) 港区への将来居住意向について

設 問

Q3-(1) 将来社会人になったとき、港区に住みたいと思いますか。

- ・ 半数の回答者が「住みたくない」と回答した

○居住意向ごとの人数・割合(全地区)



- ・ 住みたい理由で多い回答

[交通機関が便利]

- ・ 住みたくない理由で多い回答

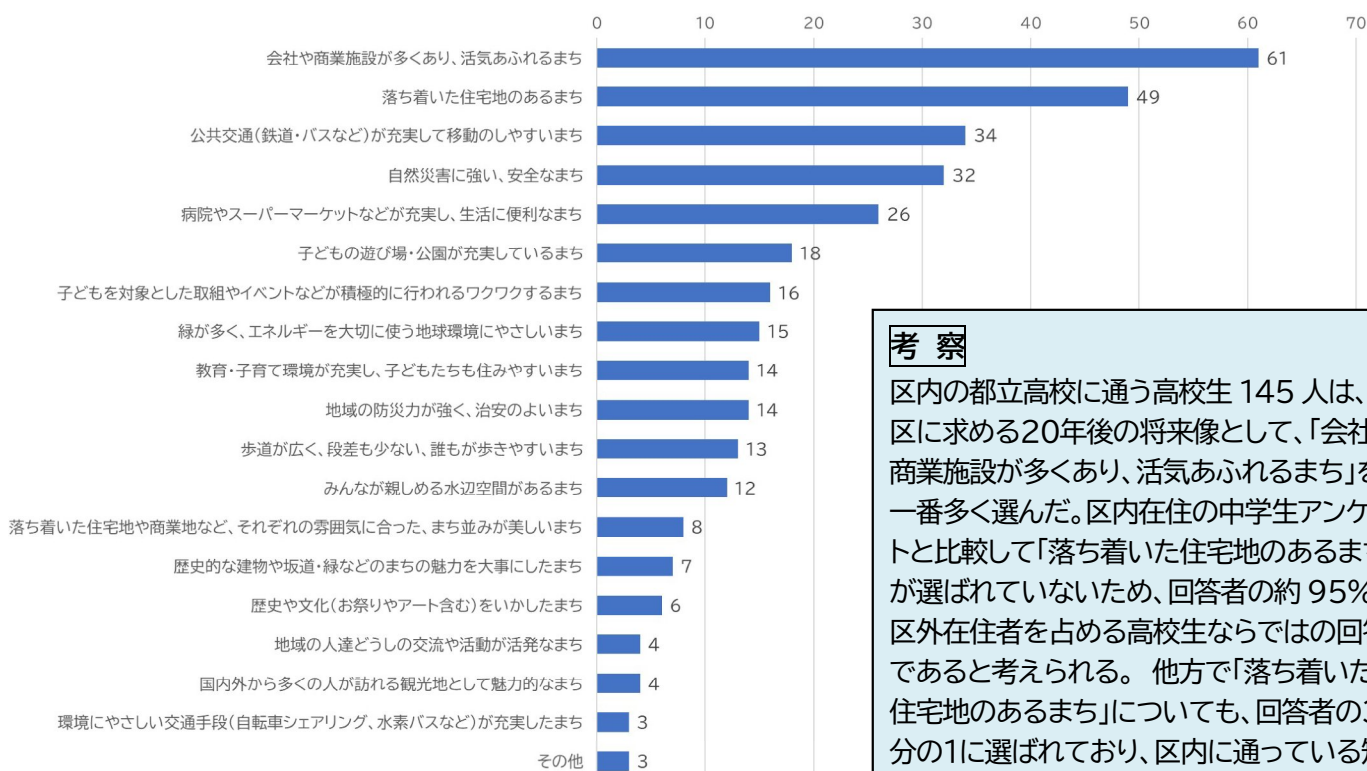
[家賃/物価が高い、人が多すぎる/満員電車、オフィス街のイメージが強い、悪臭、スーパーがない]

3) 港区に求める将来像

設 問

Q4 20年後の港区は、どんな「まち」になってほしいと思いますか。

(特に思うものを1つ以上選んでください。3つまで選ぶことができます。)



考 察

区内の都立高校に通う高校生145人は、港区に求める20年後の将来像として、「会社や商業施設が多くあり、活気あふれるまち」を一番多く選んだ。区内在住の中学生アンケートと比較して「落ち着いた住宅地のあるまち」が選ばれていないため、回答者の約95%が区外在住者を占める高校生ならではの回答であると考えられる。他方で「落ち着いた住宅地のあるまち」についても、回答者の3分の1に選ばれており、区内に通っている短い時間の中で影響を受け、落ち着いた環境を重要視するに至ったと考えられる。

4 区民意見交換会(第1回) 実施報告(概要版)

港区まちづくりマスタープラン改定にあたり、地域の実情等を把握するとともに、地域が抱える課題や将来ビジョンについて意見を交わすため意見交換会を実施し、計35名の方々に参加いただいた。区民意見交換会で得た意見を骨子案や素案に反映させることで、実態を踏まえた実効性のあるマスタープランに繋げることを目的とする。ご意見は、地区別「まちづくりニュース」にまとめて発行した。

1 実施概要

テーマ：地区の魅力と課題の整理

対象：5つの総合支所の区域+台場地区に区分した、各地区の在住・在勤者
(芝地区、麻布地区、赤坂地区、高輪地区、芝浦港南地区、台場地区)

周知：区広報みなと、区ホームページ、区X(エックス)、区掲示板、
各地区総合支所チラシ配架

方法：ワークショップ形式のグループディスカッションによる意見交換

2 実施日程・参加人数

地区名	日付	時間	実施場所	参加人数
芝地区	7/16(水)	18:30-20:00	港区役所本庁舎	2名
赤坂地区	7/17(木)	18:30-20:00	赤坂区民センター	2名
麻布地区	7/22(火)	18:30-20:00	六本木区民協働スペース	4名
高輪地区	7/31(木)	18:30-20:00	高輪区民センター	19名
芝浦港南地区	7/29(火)	18:30-20:00	芝浦区民協働スペース	4名
台場地区	7/14(月)	18:30-20:00	台場区民センター	3名

3 当日の流れ

時刻	時間	次第
18:30	5分	1. 本日の意見交換会の流れ
18:35	15分	2. 港区まちづくりマスタープランについて 3. 芝浦港南地区(台場地区含む)の特性
18:50	65分	4. 意見交換(ワークショップ) 地区の魅力と課題について意見交換しましょう！ ① 自己紹介 ② 「地区の特性・魅力」「地区の課題」をポストイットに記入 ③ グループ内意見交換 ④ 発表
19:55	5分	5. 今後の予定

4 令和7年度 実施時期及び開催テーマ

回	開催時期	開催テーマ ※検討中
第1回	令和7年7月	「港区まちづくりマスタープラン」とは 「地区の魅力」や「地区の課題」について
第2回	令和7年12月	「港区がどんなまちになっていったらいいか」について 「各地区においてどのようなまちづくりの取組をしていくといいか」について

5 地区別の主なご意見結果

【芝地区／参加者 2 名】

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・芝地区は、大使館が多い点、お寺が多い点、有名大学が立地している点など教養があるまち。【土地利用・活用】 ・海が近いところは魅力。防災面では不安もあるが、このエリアは比較的安全だと感じている。【防災・復興】 ・区内の図書館、ジム、スポーツセンターなどの施設が素晴らしい。病院やクリニックが多い点もありがたい。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の趣が薄れ、まちから個性が失われつつあると感じる。【土地利用・活用】 ・地区内で所得層別に受けられる生活サービスに差が出ていると感じる。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】 ・高齢者や子育て世代の支援は充実しているが、独身者向けの支援が少ないと感じる。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】

【麻布地区／参加者 4 名】

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・来街者の多いエリア、閑静な住宅街の両方があることが魅力。【土地利用・活用】 ・外国人が多く住み、国際色豊かである。【国際化・観光・文化】 ・神社仏閣、再開発による高層建築、風情ある住宅街など、新しい街並みと古い街並みが共存する。【景観】 ・歴史のある坂道が多く、趣がある。【景観】 	<ul style="list-style-type: none"> ・大使館が多く立地している。交流の機会がもっと増えるとよい。【国際化・観光・文化】 ・街なかに水辺が感じられるまちは魅力がある。古川の水辺環境を、もっと生かしたい。【緑・水】 ・家賃が上がり、商店街の老舗が店を閉め、チェーン店が増えており、地域色が薄れてきている。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】

【赤坂地区／参加者 2 名】

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・千代田線、丸ノ内線、銀座線があり、すぐに色々な駅に行くことができるので、利便性が高いと感じる。【道路・交通】 ・外国人の観光客が増えたことは魅力と感じる【国際化・観光・文化】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭りなどコミュニティの活動に関わる人数が減少している。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】 ・通り抜けの車が多く、歩行者が危ない。特に子供にとって危険と感じる。【道路・交通】 ・外国人観光客の増加に伴った民泊等のルールの整備が課題。【国際化・観光・文化】

【高輪地区／参加者19名】

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・治安が良い。事件も少なく、警察署も親切。街の雰囲気や地域のコミュニティが醸成され、人情がある【土地利用・活用】 ・東京都庭園美術館、高輪森の公園などがあり、緑が豊かで「都心のオアシス」のように感じる。【緑・水】 ・高輪や白金は下町感のある街並みが魅力であり、再開発等で壊れないようにすべき。【景観】 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔からある住宅地と共存する開発の在り方を考えてほしい。【土地利用・活用】 ・高輪地区には細い道路や一方通行が多く、車いすやベビーカーが通れない歩道がある。緊急車両が入れないなど防災面でも心配である。【道路・交通】 ・今後も外国人が増える見込みで、共生できるか不安。【国際化・観光・文化】

【芝浦港南区／参加者 4 名】

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良い。バスの運賃が安く、運転手も確保できている。【道路・交通】 ・水辺が多いことが魅力であるが、ポテンシャルを生かしていない。【緑・水】 ・公共施設が充実し、小学校・中学校の設備が良い。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】 	<ul style="list-style-type: none"> ・舟運が活かせてない。船の通行可能な運河が少ない。【道路・交通】 ・日常の食料品の店舗が少ない。商業店舗の重複が多いため、バランスよく立地させる必要がある。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】 ・港南地区は夜暗い。女性が一人で歩くには治安面で怖い。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】

【台場地区／参加者 3 名】

魅力	課題
<ul style="list-style-type: none"> ・お台場海浜公園がいつも清掃されていて安心して子供と遊べる。【緑・水】 ・春は台場エリア全体で桜をみられることが地域の魅力である。【緑・水】 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区内での買い物が不便で、豊洲に行って買い物をしている。【住宅・生活環境・地域コミュニティ・防犯】 ・観光客が多いので、観光客対応のインフォメーションセンターがほしい。【国際化・観光・文化】